



学校通信

とうよう

第2号
令和6年5月1日
泉大津市立東陽中学校
校長 花見 明子

東陽校区小中一貫教育校 重点教育目標 「誰とでもつながる力」の育成
学校教育目標 「なかまとともに、額に汗、脳に汗かく」生徒を育成する

青々とした若葉、晴れた空、過ごしやすい季節の到来です。新年度に感じることのある“気持ちの高まり”が安定し、“落ち着かない不安”が和らぐ頃でもあります。GWは勉強したり、部活等の課外活動に力を注いだり、時間をうまく使って余暇を楽しむ人もいることでしょう。好きな漢字アンケートの上位にランクインする「楽」は、楽しいという意味のほかに、ころよ、かなでる、たやすい という意味を持ち、私たちの人生を豊かにしてくれる素敵な漢字です。後半のGWも楽しい休日を送り、心身共にリフレッシュしましょう。生活リズムを大きく変えてしまうと、戻すのに時間がかかりますので気をつけてください。GW後は、中間テスト前の時期になります。「複数のことを同時期に進行させる」そして「継続する」を目標に自分から行動を起こしましょう。新年度はスタートしたばかり、今がその時です。

授業参観・PTA 総会

ありがとうございました

18日(木)開催の授業参観、PTA総会にご来校いただきありがとうございました。ご多用のところ、多くの保護者の皆さまが参観してくださり、本校の教育活動に関心を持っていただいていることがわかりました。私たち教職員はその期待に応えるため一層気持ちを引き締めて取り組んでいこうと考えております。連休後の5月9日(木)は、オープンスクールを予定しております。参観される方がある程度分散されてゆっくりご覧いただけるかと思っております。どうぞお越しく下さい。

プレゼンテーションを学ぶ(1年)

4月23日1年生はオンライン出前授業「プレゼンテーション」の講義を受け、自分の考えを伝えることについて学習しました。学校の重点目標「インプット・アウトプットを的確に行い、自分の考え・想いをしっかり持つことができる人に！」なるための第一ステップです。貴重な学びとなりました。



生徒朝礼

4月30日の生徒朝礼にて、前期 学級委員・文化委員・保健体育委員・生活環境委員・ボランティア委員の辞令交付を行いました。委員会活動のさらなる活性化を期待しています。



新しく着任した職員紹介

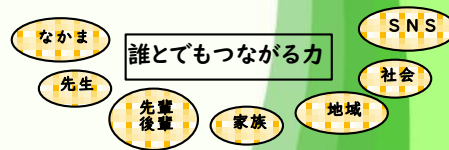
日本語指導 : 藤本 徹(上條小) ALT : Iwasaki Imelda(イワサキ イメルダ)
泉大津市家庭教育支援チーム サポーター : 納谷 寿美・桑島 美紀
~ よろしくお願ひします ~

東陽中学校区小中一貫教育推進計画

令和6年度 東陽中学校区小中一貫教育校 推進計画

東陽中学校区小中一貫教育校 重点教育目標：「誰とでもつながる力」の育成

- 自分の思いを他者に伝えることができる。
- 他者の思いを聞き、共感することができる。
- 1人では解決できない課題を、協働的な取組みにより解決することができる。



(めざす子ども像)

- リーダーシップ・フォローシップが発揮できる(自立・自律)
- 対話力・共感力が備わっている(コミュニケーション)
- 人と人とのつながりの中で課題を解決する力がついている(協働)

・・・目標達成のための具体的な取組み・・・

◎◎ 令和6年度 重点取組み ◎◎

- 【体育・総合】・・・【体育】身体を動かす楽しさを育みながら、体力・表現力・集団行動力(主体性・課題解決能力)の育成
- 【総合】協働的な取組み、探究活動などを取り入れ、対話力・表現力・主体性・課題解決能力の育成
- 【なかまづくり】・・・児童生徒の自己効力感が高まる、リーダー育成や子どもどうしのつながりを意識した委員会活動や班活動等の取組み実施

○○ 令和6年度 取組み ○○

- 校区小中学校長連絡会、実務担当者会の実施
- (教員交流)小中教員研修会の実施、小中教員授業交流会の実施
- (児童生徒交流)児童会・生徒会交流、小中・小小合同授業の実施
- ※授業・生徒の成長等での効率を高めるために、必要な研修・交流を行う



東陽中学校グランドデザイン

令和6年度 泉大津市立東陽中学校グランドデザイン

東陽中学校区小中一貫教育校 重点教育目標：「誰とでもつながる力」の育成

- リーダーシップ・フォローシップが発揮できる(自立・自律)
- 対話力・共感力が備わっている(コミュニケーション)
- 人と人とのつながりの中で課題を解決する力がついている(協働)

「令和6年度小中一貫教育校の重点取組み」

- 【体育・総合】・・・【体育】身体を動かす楽しさを育みながら、体力・表現力・集団行動力(主体性・課題解決能力)の育成
- 【総合】協働的な取組み、探究活動などを取り入れ、対話力・表現力・主体性・課題解決能力の育成
- 【なかまづくり】・・・児童生徒の自己効力感が高まる、リーダー育成や子どもどうしのつながりを意識した委員会活動や班活動等の取組み実施

◇◇東陽中学校教育目標◇◇

「なかまとともに、額に汗、脳に汗かく」生徒を育成する

◎東陽中学校今年度の重点目標◎

インプット・アウトプットを的確に行い、
自分の考え・想いをしっかり持つことができる人に!

・・・目標達成のための具体的な取組み、数値目標・・・

- リーディングスキル・情報活用能力を高める取組みやプレゼンの実践を積極的に進める [自分のことが好きである 75%(70%)]
- (全校での班活動)「自分の想いを出し、なかまの想いを受け止められる班活動」をめざす [学校へ行くのが楽しみである 86%(83%)]
- 生徒全員で企画・運営・参加する「生徒主体の学校づくり」を進める [生徒会活動や委員会活動などに関心を持ち積極的に参加 63%(57%)]
- 食育を充実し、生徒の食・からだづくりへの関心をさらに高める [給食を好き嫌いなく食べている 73%(70%)]
- 地域人材を活用した教育活動の拡充をめざす [地域人材の活用によって、教育活動の充実を図ることができている 50%(43%)]
- 部活動改革を進め、持続可能な部活動の体制づくりをさらに進める [令和7年度から、拠点校方式・合同部活動等実施ができるめどをつける]